

JSCA千葉ニュース(秋)

発行(社)日本建築構造技術者協会 JSCA千葉(広報委員会)
〒262-0031千葉県千葉市中央区長州1-14-1 飯島建築構造事務所内 TEL 043(221)5131
FAX 043(221)5133

祐光県営住宅耐震補強工事 の見学会開催される

工方法まで含めて設計をして欲しいとの要望が強く出されました。

フレーム増設型の補強例

株式会社 カトウ建築事務所 藤原 慶

平成13年9月3日JSCA千葉による祐光県営住宅増設工事の見学会が開催されました。

本工事は、Is値が不足している既存建物にフレームを増設する事により、不足耐力を補う事を目的とした補強工事であります。

補強設計においては、既存部分増設フレーム部分において建物の剛性が異なる為、水平力伝達をスムーズに行う為の接合部の設計施工が非常に重要になってくると考えられます。その為、見学会では主に、接合部の施工法及び設計の考え方などの現場説明に重点がおかれました。その中でも特に質問が多かったのは、既存から増設フレームへとせん断力と軸力を伝達させている接合鉄筋孔のモルタル充填方法や、その確認方法、又、コーン破壊を考慮した設計引張強度、鉄筋ピッチ、径などの設計内容で、質問と共に活発な意見の交換も行われました。

又、現場サイドからの意見が多かったのは、既存と増設フレームを結びつけるスターラップ等の施工の難しさで、設計者に対して容易でかつ合理的



増設フレームとの接合部 (写真提供市原氏)

今後は施工性まで配慮した設計を行って行くことが、特に今回の様な実績の少ない工事においては重要であるということ改めて認識したと思います。

本見学会において、これから特に官庁工事においては多くなっていくであろう耐震補強工事の現場サイドからの説明及び意見が聞けたことは、私にとって大変有意義であった様に思います。

最後に、本見学会を開催して頂いた千葉県都市部住宅課、(財)千葉県まちづくり公社並びに松栄建設の皆方に心から感謝の弁を申し上げます。

JSCA千葉役員会議事録抜粋(相山)

役員会	飯島 宏治	平成13年度第4回	8月24日(18:00~20:00)	2) 協力会員の入会状況について
代表	真崎 雄一	7月25日(18:00~20:00)	出席、飯島代表他6名	現在計12社。
副代表	齋藤美佐男	出席、飯島代表他9名	1) 神奈川県会との研修見学会について、東洋化成綱末広工場制震壁見学会(制震壁GVA-SE構法)鉄骨造10月13日(土)	3) 千葉県在住会員への入会の呼びかけについて、発送は10月上旬予定とし、5地区に分けて分担作業とする。
総務委員会	向後 勝弘	1) 千葉県在住会員への入会の呼びかけについて、案内文一園部氏加入意志の確認アンケート、最終まとめは会員委員会が担当。	2) 千葉県在住会員への入会の呼びかけについて、アンケート案	平成13年度第7回
会員委員会	相山 誠治	2) 協力会員の入会状況について現在の申し込みは5社。JSCA千葉ニュースに記事、会員にも呼び掛けてもらう。	3) 協力会員の入会状況について	10月24日(18:00~20:00)
研修委員会	服部 信幸	3) JSCA千葉ニュース(夏号)について、ゲラ刷りで検討協力会員や寄稿者への発送を忘れないように。	4) 構造士試験監督員の人選について、期限の関係から留任とす。	出席、飯島代表他6名
広報委員会	青木 光年	平成13年度第5回	平成13年度第6回	1) 千葉県在住会員のアンケート結果について、発送246名中本日現在まで参加したい13名、参加できない13名、回収率次第、集計結果を会員にレポートする。(予定、年内中)
技術委員会	細川 正三		9月19日(18:00~20:00)	
	真崎 雄一		出席、飯島代表他7名	
	舛田 卓也		1) 神奈川県会との研修見学会	
	園部 隆夫			
	齋藤美佐男			
	安田 良一			
	市原 嗣久			
	坂恵 一巳			



会員レポート 「東洋化成末広工場 現場見学会」

(株)構造フォルム 森田 敏

平成13年10月3日にJSCA神奈川、千葉共同により、横浜市にある東洋化成末広工場の現場見学を行った。建物規模は延床5000㎡、4階建、1,2階工場、3,4階事務所、1階の階高が5.6mと高く、2階のLLは1.0t/㎡と他の階0.3t/㎡と比較すると大きい。建築用途上、経済的、工期での制約等厳しい条件下での最適な構造計画が随所に表現されている現場見学会でした。



工場建築であるため生産性向上の要求が多く、間仕切りが少ない空間で、2階も工場、3,4階は工場の生産を制御するコンピュータ等機械が多くあり、大災害後にも機能しなければならず、各構造計画のシミュレーションの結果、図のような幅2m程度の制振ブレースを設けることにより、ブレース構造のように固すぎず、又ラーメン構造のような変形が大き過ぎることも無い最適な設計でした。

この制振ブレースの特徴は図のように、上下2箇所の×点が交わった部分に住友3Mの粘弾性材(VEM)を使うことにより、中央のひし形部が回転の動きをして、適度な剛性が確保でき、地震時の激しい揺れを緩和し、かつ早く震動を押えることが出来る構造計画的にも、経済的にも非常に優れた計画でした。

本誌は季刊とし年4回の発行を目標としてJSCA千葉の活動状況を報告しています。皆様の声を反映させるべく、ご意見ご要望をお待ちしています。(広報委員会)

た。
当建築では他にも見どころが随所にあり、一例では荷重が重く、地盤がそれほどよくない床を支えるのに、ソルパックと言う「土のう」をイメージするような工法も採用され、構造設計者のマサ建築構造設計室、真崎氏の建築に対する熱意と創意工夫が我々見学するものにとって伝わってくるような設計でした。

見学後、神奈川と千葉JSCAの会員との懇親会があり、楽しい見学会で、このような現場見学の機会を設けてくれた、鹿島建設の伊東所長、粘弾性材の説明をしてくれた住友3Mの田中氏、構造計画の説明をしてくれたマサ建築構造設計室 真崎氏、涌井氏

協力会員を推薦して下さい

新規約により協力会員を募ります。会員の皆様、協力会員をご推薦下さい。建築構造技術に関連していればなお可。相互援助となります。

特典1 会員名簿が配布されることにより、協力会員は営業的活動が滑らかとなる。

特典2 各専門分野における技術部会、講習会等を相互に要望する事で会員は研鑽し、協力会員はPRできる。

特典3 会員に対する協力会員の会社訪問は、快く応ずる。(会員の皆様、どうぞよろしく。)

なお入会金無し、年会費¥12,000(初年度月割り、中途退会は返金無しとします。)

協力会員とは

本会の目的及び事業に協力する法人又は個人で役員会において承認された者。

「JSCA千葉規約3.(3)協力会員」より

会員委員会 青木光年・細川正三

JSCA千葉技術勉強会議事録抜粋(定例月1回)

在住会員のアンケート調査結果が集まりつつありますが、12月末頃に集計結果を発表致します。(会員委員会)

<p>技術委員会 委員長 市原嗣久</p> <p>第40回より場所を船橋市勤労市民センターとし益々活発な活動しております。どしどしご参加下さい。(佐藤)</p>	<p>第39回 7月18日 (17:00~20:00) 出席、市原委員長他7名 1、耐震補強事例について 補強事例についての情報交換と質疑応答。</p>	<p>第40回10月27日 (17:00~20:30) 出席、市原委員長他10名 1、旭化成・鉄鋼製柱梁接合部材(ファブラックス)メーカー説明会 2、だれにもわからない振動解析-1 ・簡単な構造物の自由振動</p>
--	--	---

耐震判定協議会の父、逝く

——故 鶴巻 昭二さんを偲ぶ——

JSCA千葉代表 飯島 宏治

去る10月13日、日課としている早朝の散歩において不慮の事故に遭遇し、逝去されました。本人はもとより、まだまだこれからという時に、さぞかし無念であったことと推察し、断腸の念に耐えません。

鶴巻さんほど、公私をわきまえ、物事の本質を捉えた、広い視野からのものの見方をされた人を私は知りません。誰彼と無く気さくに話され、常に我々の先頭に立って進んでこられました。

鶴巻さんは40歳代に、専門設計者の職能の問題に取り組み、千葉県建築設計監理協会を設立され、更に連合会副会長として全国的に活躍をされました。その後、日本建築家協会を設立するに当たっては、時の建設省との厳しい困難な問題の矢面に立ち、今日の日本建築家協会の誕生を見たわけでありま

JSCA千葉協力会員名簿
(社名五十音順、敬称略)
皆様よろしくお願ひします。

広告の募集

本紙に広告を掲載して下さい。対象、不問
 値段 A4/2 ¥20,000 A4/4 ¥10,000 A4/8 ¥5,000
 連絡先 (有)アルファ技研設計 安田 Tel 043-206-3430

す。更にその後の卓越した活躍が周知の認めるところとなり、本年の5月に榎 文彦さんとともに10人目の名誉会員に推挙されました。謙虚で、控えめな鶴巻さんは、自分にとっては分不相応と



在りし日の鶴巻昭二氏(中国にて)
写真提供、明智孝夫氏

いいながらも、なにより誇りであったことと思われれます。そして最後の仕事となった千葉県耐震判定協議会の設立には中心的役割を担って努力され、自ら専務理事として活躍されました。

ここでの鶴巻さんの教えは、耐震診断、耐震補強の構造分野は、構造技術者自らが表面に出るべきであり、意匠事務所の陰に隠れてはならないということでありました。

JSCA千葉もこの教えを肝に銘じて、さらなる研鑽と努力を積み上げて行かねばならないと考えます。
享年74歳 合掌。

会社名	担当者名	事業内容	TEL	FAX
旭化成パイル販売(株)	浦田 和也	PHCパイル・SCパイル・ダイナミック	03-5473-5340	03-5473-5344
岡部ストラクト(株)	菅野 和仁	ベースバック・サップアンカー・NCPアンカー	043-214-5223	043-231-4743
(株)角藤	佐々木雅英	基礎工事、既製抗工法、地盤改良工法、場所打ち杭	043-246-1131	043-246-1119
(株)ジオトップ	野田 勝彦	HC-TOPパイル・鋼管杭・PHCパイル・杭の載荷試験	043-2423-6551	043-223-6552
大同コンクリート(株)	松永 勝成	コンクリートパイルの製造、販売、施工・雨水浸透製品	043-202-7072	043-202-7073
(株)千葉中央建工	吉田 智幸	ベースバック・ファブラックス・ジオトップ抗・他	043-237-2131	043-237-2333
(株)テノックス	日比野信一	各種既製抗工法、各種地盤改良工法、	03-3582-1873	03-3582-8973
(株)当間地質	間籾 寛之	地質調査	0471-32-2182	0471-32-2142
日本ヒューム(株)	堀口 修二	コンクリートパイル、ヒューム管、PCウエル、ボックスカルパート、コネクホール、プレキャスト地下室他	043-243-1049	043-243-9800
日本コンクリート工業(株)	吉田 英治	コンクリートパイル製造販売・杭打工事・各種地盤改良工法	03-5462-1030	03-5462-1042
日立機材(株)	政田 和郎	柱脚部品・接合部材・構造物用部品(大空間)	03-3615-5432	03-3615-6081
前田製管(株)	今井 弘	コンクリート二次製品製造販売・PC杭打工事	043-221-2051	043-221-2052
三谷セキサン(株)	高橋 慧	コンクリートパイルの製造販売・杭打工事施工	043-242-8778	043-242-5108